

英語を楽しく

No. 118

13, July

☆ 英会話が苦手。でも、外国の人と話すときは、こんなつもりで。

英語って外国語。まちがえるのが 当たり前。

それに、たかが言葉、使い方をまちがえたって何のことはない。

英会話で気を遣うなんて不必要。大切なのは、話しているときの相手への気持ち。

- ① Let's go have lunch.
- ② Shall we have lunch for lunch?
- ③ Would you like to go for lunch?
- ④ How about having lunch with me?

Have lunch.

がんばらんたんごうやろよ。



Go for lunch.

上の文は、食事に誘う文で ①から④まで「ランチを食べに行きましょう。」です。

①は友達感覚で使用 ②と③は丁寧な表現 ④は主にデートで誘うときの表現。

ですが、言い方の使い分けは、わかりにくいもの。でも、相手の人に、

「好意を持って、ぜひ食事に行こう。」と進める気持ちがあれば、どの文でも OK。

適切に文を使い分けることは大切ですが、それはネイティブの人に要求されることと思います。④の How about ~, が主にデート様の言葉なんてとても想像できませんよね。

☆ 「make の使い方」と「文結合」を知っておくと英語の表現力 UP

・「make + ○ + □」は、「○に □の様にさせる。」

- | | | | |
|---|---|---------------------------------|--------------------|
| a | { | I make him go. | 私は、彼をそこへ 行かせる。 |
| | | He made it fun. | 彼はそれを楽しくさせた。 |
| | | She will make her son the work. | 彼女は息子にその仕事をさせるだろう。 |

これらの文に、I wonder (think)や I have toなどを追加してみましょう。

She will make her son the work. で例を示します。

- b I wonder(think) she will make her son the work. とすれば
「彼女は息子にその仕事をさせると思うのだが(と思う。)」となりますし、
She has to make her son the work. とすれば
「彼女は息子にその仕事をさせなければならない。」となりますし、
- c I wonder(think) she has to make her son the work. とすれば、
「私は彼女が息子にその仕事をさせなければならないと思うのですが(思う。)」となります。

会話で、aのように一つの文でなく、bやcのように文と文を結合するとより自分の気持ちや考えが詳しく伝わらないでしょうか。

